



校舎内の廊下に
設けられた郷土の
偉人展示コーナー。
歴史資料館の
ような雰囲気。



岩邑小学校の「指導と評価の一体化」
の取り組みに加えて、この学校で特に強
く印象づけられたことは、「ふるさと教
育」を通じて子どもたちの全人教育的
な育ちと学びを、学校と地域社会が一
体となって追求されていることでした。

「ふるさと教育」から
全人教育※を目指す

東濃地区学校
図書館教育賞
総合優秀賞を受賞
(平成24年度)



「児童1人当たり年間で200冊近くの貸し
出し数になります。私は子どもたちの学力
や思考力の素はこういう読書力が大きく関
わっていると思います」と、校内を案内して
いただいた教頭の杉本 純一先生はもの
静かに話され、「これからも図書館活動の
充実と“本読み大好き”な子どもを育ててい
きたい」とのことでした。



杉本純一教頭先生

※知識・技能だけでなく、感性や徳性も伸ばし調和のある人間形成を目指す教育



「あんじゃない!!
岩邑っ子 育ちと学び

「あんじゃない」と書かれたTシャツは、
児童のみならず先生や地域の人も着ています。
「あんじゃない」とはこの地方の方言で「だいじょうぶ」という意味です。

先人教育

「ふるさと学習(=先人教育)」とスクールミーティング



佐藤一斎先生の人物とその時代につい
て、郷土史家の先生からお聞きました。



一斎先生の著した「言志四録」は、児童用に読み
やすく編集されたテキストを使って授業をします。



県の教育長さんをお招きした「スクールミ
ーティング」で、私たちの郷土や先人につい
て話し合いました。「私の好きな一斎先生の
言葉」をそれぞれ選び発表しました。

第10回下田歌子賞 表彰式・記念イベント

下田歌子賞は、日本女子教育の草分けである下田歌子のふるさと・岐阜県恵那市と歌子
を学祖とする実践女子学園が主催し、PHP研究所が共催する公募賞です。作品はエッセ
イの部と短歌の部に分かれており、今では全国からも作品が寄せられるようになりました。



岩邑小学校からは、短歌の部では5名の
児童が入賞しました。



事前に、何度も何度も、校長先生に聞い
ていただいて、話し方や立ち方、作文の持
ち方に至るまで指導を受けました。

いろいろな体験教室

●漢字検定



保護者の方も、親子で受験(126名が受験)

●地震体験車で体感 震度7を体験



●やまびこ学級 自主発表会



人形劇の発表 満員御礼



●防災を考える日



●特別支援学校との交流会



●租税教室を開催



(岩邑小学校ホームページ(=細江美和先生提供)より抄録)